

## 令和6年度 公益財団オホーツク生活文化振興財団事業の概要について

### (1) 理事会の開催

#### 第1回理事会 令和6年6月8日(土)

##### 【審議内容】

- ・ 理事長、専務理事の職務執行状況報告
- ・ 令和5年度事業及び決算報告・監事監査報告
- ・ 令和6年度補正予算(第1号)
- ・ 北海道大学との連携協定の締結
- ・ 紋別市健康プール館長の選任
- ・ 第1回評議員会の開催等

#### 第2回理事会 令和7年3月19日(水)

##### 【審議内容】

- ・ 理事長、専務理事の職務執行状況報告
- ・ 令和6年度補正予算(第2号)
- ・ 令和7年度事業計画案・収支予算案の審議等

### (2) 評議員会の開催

#### 第1回評議員会 令和6年6月25日(火)

##### 【審議内容】

- ・ 令和6年度第1回理事会の概要報告
- ・ 北海道大学との連携協定の締結
- ・ 令和5年度事業及び決算報告
- ・ 監事監査報告・顧問設置に関する定款変更
- ・ 役員(理事)定数増に関する定款変更
- ・ 役員を選任等

### (3) 臨時理事会の開催

#### 第1回臨時理事会 令和6年6月25日(火)

##### 【審議内容】

- ・ 理事長の選定
- ・ 顧問設置規程の制定
- ・ 顧問の選任

### (4) 監事監査

#### 令和5年度決算監査 令和6年5月24日(金)

# 1 北海道立オホーツク流氷科学センターの事業概要について （令和7年3月31日現在）

令和6年度の入館者は前年の32,595人に比べ、3,010人（前年比約109.2%）の増で35,605人となった。海外団体ツアーは昨年度3,421人のところ今年度は3,169人で最終的に252人の減少となった。逆に海外個人客は、昨年度827名が今年度1,386人の451人の増となった。しかし海外団体ツアーは流氷期のガリンコ号欠航による突発的な入館だったことから、振替が無ければ海外ツアーはさらに減少したと思われる。また今年度はオホーツク管内博物館協議会や北海道青少年科学館連絡協議会など道内社会教育施設の職員研修の場として施設利用があったことと、ガリンコ会社と連携した体験型講座や自衛隊の講演会、映画会などの自主事業による入館者が多かった。開館日数では、北海道による受電設備工事により9月3日から11日までの8日間の閉館と、防火シャッター工事による10月14日から17日までの3日間展示室のみ閉鎖したことで、合計11日間、展示室を閉鎖することとなった。

## （1）指定管理事業

【営業状況】	6年度	5年度	増減
開館総日数	321日	332日	▲11日
うち特別営業日	28日	32日	▲4日
臨時休館（展示閉鎖）日数 （北海道実施工事による）	R6. 9. 3～11 8日 R6. 10. 14～17 3日	(R6. 1. 25) 1日	10日
【入館者状況】	6年度	5年度	増減
入館者総数	35,605人	32,595人	3,010人
うち観光ツアー・学校説明	7,021人	6,834人	187人
うちGWイベント	2,853人	2,739人	114人
うちギザまつり夏イベント	3,626人 ※8/10～18の入館者	3,059人 ※8/11～16の入館者	567人
うちギザまつり冬イベント	373人 ※R7. 1/10～13の入館者	190人 ※R6. 1/6～8の入館者	183人

## （2）主催事業

内容	6年度	5年度	増減
わくわく科学教室	1,471人	1,529人	▲58人
企画展「鉄と申します」	629人	1,247人	▲618人
写真パネル展「南極で活躍する人々」※紋別市制70周年記念事業	2,729人	0人	2,729人
船上講座（蜃気楼、プランクトン、星空クルーズ等）	126人	122人	4人
特別講座・ワークショップ等	237人	92人	145人
主催体験教室（自然体験）	11人	13人	▲2人
体験型講座（写真教室）	4人	0人	4人
シアター活用事業 （プラネ等上映会）	(17回) 573人	(14回) 301人	(3回) 272人

## （3）市民開放事業

内容	6年度	5年度	増減	
一般・子ども科学・文化教室	111人	419人	▲308人	
自然体験・野外活動教室（派遣）	344人	598人	▲254人	
生活文化	ギザ映画会	(5回) 389人	(4回) 285人	(1回) 104人
	主催関連展示会	8,532人	9,332人	▲800人
	市民活動支援（カウント方式により増減差拡大）	5,739人	25,301人	▲19,562人

## 2 紋別市健康プールの事業概要について

令和6年度は、紋別市発注による空調設備や消防設備などの改修工事に伴い令和7年1月から3月末までの3ヶ月間臨時休館となったことから、前年度比で9,920人の減となった。

長期休館の影響による利用者離れが懸念されたが、4月から12月までの9ヶ月間での前年度比では99.5%の206人の減に留まり、前年度並みの利用者数を確保できた。

この利用者数については、年間で最も利用者数が多くなる8月において、猛暑により急激な増加となった前年の利用者数には及ばなかったものの、前年同月比の約90%の利用者となり連日で賑わいをみせたことと、屋外プールの利用期間の延長や年間を通した高齢者の送迎事業等の実施により一定の利用者の確保につながった。

スイミングスクールでは、臨時休館による影響で前年と比較すると受講者が減少しているが、受講者の増加を図るため、スクールの開催回数を増やす取組を進めた。

フィットネス講座では、8講座の受講者数は、前年度比で約8%増加しており、新型コロナウイルス感染症の影響による落ち込みから回復傾向にあるなど、スクール及びフィットネス講座共に地域の子供から大人までの幅広い受講者の確保につながった。

また、紋別市内外での指導者派遣事業回数も増加しており、地域住民の利用促進と健康増進にも寄与した。

### (1) 指定管理事業

【営業状況】	6年度	5年度	増減
開館総日数	244日	314日	▲70日
うち特別営業日	11日	15日	▲4日
臨時休館日数 (当初計画休館日を除く)	(R7.1.4~ R7.3.31)76日	(R6.1.25)1日	75日

【入館者状況】	6年度(9ヶ月間)	5年度	増減
入館者総数	39,297人	49,217人	▲9,920人
うち市外団体利用	171人(5団体)	142人(5団体)	29人
うちスポーツ合宿	44人(4団体)	118人(11団体)	▲74人
うち小学水泳授業	1,856人	2,114人	▲258人

【北海道水泳連盟公認水泳競技大会】	6年度	5年度	増減
オホーツクジュニア競技大会 開催	269人	427人	▲158人
オホーツクスプリント競技大会 開催	245人	252人	▲7人

### (2) 主催事業

【スポーツ振興及び健康増進事業】	6年度	5年度	増減
初心者スクール(1期7~14回4期半開催)	445人	549人	▲104人
短期スイミング講座(幼児・小学生)	15人	63人	▲48人
泳力向上スクール(1期7~14回4期半開催)	279人	445人	▲166人
各種フィットネス講座(ヨガなど8講座)	1,626人	1,501人	125人
雄武町教育委員会主催水泳教室派遣(2回)	46人	61人	▲15人
上渚滑交流プール無料小学生水泳指導派遣	4人	-	4人
雄武町フィットネス教室指導派遣(4回)	60人	-	60人

【アニバーサリーフェア】	5年度	4年度	増減
12月17日	248人	134人	114人

### 3 紋別生涯学習センターの事業概要について

(令和7年3月31日現在)

令和6年度は、感染症対策による各種制限や利用低迷から脱却し、コロナ禍以前の利用状況を超える結果となった。とくに学校をはじめスポーツ少年団やサークル活動団体の利用が増え、市民における生涯学習活動の活発化が伺える。また昨年から引き続き、管内外国人実習生の受入団体による研修利用が通年あり、昨年度からの利用者数の増加へ大きく影響している。

主催事業においては、小学生をはじめ幼児を含む親子や大人を対象とした体験活動をおこない、幅広い年齢層へ向けて生涯学習活動を展開している。また5月に開催した施設開放事業「リラフェス」では366名の来場があり、入館者総数は前年比1,112名増の9,348名(前年比13.5%増)で開所以来最高となった。

#### (1) 指定管理事業

【営業状況】	6年度	5年度	増減
開館総日数	316日	316日	0日
うち特別開館日	25日	24日	1日
臨時休館日数(当初計画を除く)	0日	(R6.1.25)1日	▲1日

【入館者状況】	6年度	5年度	増減
入館者総数	9,348人	8,236人	1,112人
うち日帰者数	5,550人	4,700人	850人
うち宿泊利用者数	3,798人	3,536人	262人
利用団体総数	417団体	372団体	45団体
うち日帰団体数	350団体	302団体	48団体
うち宿泊団体数	67団体	70団体	▲3団体

#### (2) 主催事業 他

事業区分		6年度	5年度	増減
宿泊型事業	事業数	11事業	9事業	2事業
	参加者数	166人	117人	49人
日帰型事業	事業数	9事業	10事業	▲1事業
	参加者数	775人	638人	137人
共同開催事業 連携協力事業	事業数	1事業	1事業	0事業
	参加者数	20人	36人	▲16人

#### (3) 職員派遣依頼対応

依頼先/内容	6年度	5年度	増減
紋別中第3学年総合学習指導 他	17件	20件	▲3件

# 令和 6 年度公益財団法人オホーツク生活文化振興財団 各施設事業の内容

## 1 北海道立オホーツク流水科学センターの事業報告

※人数集計区分について

- ・入館者 有料スペース利用者数【展示室、全天周ホール】
- ・入場者 フリースペース利用者数  
【多目的ホール、エントランスホール、3階展望室】
- ・参加者 イベント等の参加人数

### (1) 事業促進の体制づくり

#### 北海道大学との連携協定締結について

オホーツク流水科学センターと北海道大学低温科学研究所及び北極域研究センターが双方の連携協力関係を深め、お互いの発展を目的とする連携協定を締結した。



#### ○締結日

低温科学研究所 8月22日

北極域研究センター 10月9日

#### ○会場

北海道立オホーツク流水科学センター  
ドームシアター

### (2) 指定管理事業

#### ア) 施設の管理運営

##### ①利用促進への取組

- ・学校等の教育機関及び観光客の他、職員研修等での利活用や実施事業回数が増など利用者増に努めた。
- ・通年利用可能な市内3施設観光共通セット券による個人客向けの利用促進や流水科学センター年間パスポートによるリピーター強化を図った。

【入館者状況】令和6年度入館者 35,605人

(前年度32,595人 前年度対比 3,010人増)

##### ②施設の開館日数

【営業日数 321日】(前年度 332日 11日減)

##### ③臨時休館日数 11日(前年度1日 10日増)

9月3日(火)～8日(日)6日 ・9月10日(火)～11日(水)2日

10月14日(月・祝)1日 ・10月16日(水)～17日(木)2日

##### ④特別営業の実施

夏休み期間や流水期(1月4日～3月末)の休館日に特別営業を実施した。

【特別営業実施日数 28日】(前年度32日 4日減 )

- ⑤団体利用者に向けた職員による解説や実験メニューの実施により、利用者増を図った。
- ・旅行エージェントによる道内外及び海外からの観光ツアー等利用者への実施  
【入館者 5, 825人】（前年度 5, 377人 448人増）
  - ・小中及び高校科学研修、大学研修等への実施  
【入館者 1, 196人】（前年度 1, 457人 261人減）
  - ・その他団体入館者への実施  
【入館者 1, 017人】（前年度 1, 026人 9人減）
- ⑥大型連休、夏・冬休みの期間などに入館者促進を図る事業を実施し誘客を図った。
- ・ゴールデンウィークイベントの開催 実施期間 4月27日～5月6日 10日間  
【入館者 2, 853人】（前年度2,739人 114人増 実施期間 4月29～5月7日 9日間）  
GW期間中、エコ体験コーナー、自転車こぎ発電、紋別市内で実施するARスタンプラリーへ参画し、家族連れなど観光客の誘客を図った。
  - ・夏のギザまつりの開催 開催期間 8月10日～18日 9日間  
【入館者 3, 626人】（前年度3,059人 567人増 開催期間 8月11～18日 8日間）  
工作や射的コーナー、景品付きアンケート、オホーツ総合振興局による電気自動車の電気を活用したエコバッグづくりなどを実施した。  
また7月17日～8月17日の期間に厳寒体験室で「流水重さ当てクイズ」を実施した。実施日数32日間（昨年度実施期間 7月17日～8月15日 30日間）
  - ・冬のギザ祭りの開催 開催期間 令和6年1月10日～13日 4日間  
【入館者 373人】（前年度 190人 183人増 開催期間 1月6日～8日 3日間）  
冬休み期間の子どもを対象に、子ども向け流水ワークショップやプラネタリウム、お絵描きワークショップなどのイベントを実施。プランクトンクルーズは悪天候で中止となった。  
また1月4日～2月8日の期間の35日間、厳寒体験室で「流水重さ当てクイズ」を実施した。（昨年度実施期間 1月6日～2月12日 37日間）
- ⑦近隣町村・近隣施設・市内施設連携事業の実施
- ・市内観光施設共通入場セット券の販売  
3施設販売枚数 1, 582件（前年度 728件 854件増）  
（流水科学センター・オホーツクタワー・とっかりセンターの各施設の利用共通券）

### (3) 主催事業の実施

#### ア) 流水・海洋科学知識普及事業

##### 1) 科学の祭典の実施

- ・「わくわく科学教室」を開催した。

【参加者 1,471人】 実施日 7月14日（前年度1,529人 58人減）



わくわく科学教室の様子

##### 2) 企画展等の開催（年1回）・特別展の開催（随時）

###### ①企画展「鉄と申します」

【入場者 629人】 開催期間 7月27日～8月25日 30日間

（前年度 入場者1,247人 618人減 開催期間 7月22日～8月27日 37日間）  
室蘭のDENZA | 環境科学館及び日本製鉄（株）北日本製鉄所ご協力のもと  
日本製鉄所蔵の原料実物資料や解説パネルを借用し、鉄の起源から製造工程、  
リサイクル方法などを紹介した展示の企画展を開催した。

###### ②特別展「南極で活躍する人々」

【入場者 2,729人】 開催期間 6月22日～7月7日 14日間

海上自衛隊による南極に関する写真パネル展を開催した。紋別出身で海上自衛隊員の井上氏より南極の氷を施設に贈呈頂き、砕氷船「しらせ」での生活、また南極の風景など約30点写真で紹介したもの。また連携事業として井上隊員による南極での活動についての講演会を実施した。



「鉄と申します」展示風景



南極の氷贈呈式

### 3) 講演会・体験講座等の開催

昨年度まで実施していた「流水科学講座」を刷新し、多くの方々に様々なジャンルの知識を普及する内容で開催した。

#### ①体験的講座

地域の特色を活かした体験的な講座を各種開催した。

**【参加者合計 141人】**（前年度 122人19人増※悪天候による中止等あり）

- ・ガリンコ号で行く！蟹気楼・海鳥観察クルーズ（オホーツク管内博物館協議会職員研修会共催）

参加者 28人 実施日 5月11日

蟹気楼と海鳥の観察を目的としたガイド付きクルーズ。今年度はオホーツク管内博物館協議会との共催で、紋別の「自然とアート」の要素を盛り込み、紋別市立博物館学芸員と協力し、地域の観光素材の磨き上げをテーマに実施した。



船上での解説



大山山頂でのアート見学と解説

- ・「ガリンコ号で行く！プランクトンクルーズ」

参加者 45人 実施日 8月4日

学芸員がガイドとなってガリンコ号Ⅲに乗船。船内で事前学習ののち、船舶での採集作業を見学し、その後採集したプランクトンを持ち帰り、顕微鏡による観察を行った。



ガリンコ号でプランクトン採取の見学



ガリンコ号で採取したプランクトンの観察

- ・「まだまだ流水も見られるかも?! 蟹気楼観察クルーズ」

参加者 53人

実施日 令和7年3月16日

学芸員がガイドとなってガリンコ号Ⅲに乗船し蟹気楼と流水をテーマに実施。  
今回は北見工大の学生の協力で蟹気楼の実験プログラムを盛り込んだ内容を盛り込み好評であった。



職員による蟹気楼解説



蟹気楼クルーズ 北見工大生蟹気楼実験

- ・わいんどトレック

参加者 10人 実施日 8月1~2日

紋別生涯学習センターとの共催事業。自然体験講座を実施。

- ・ビーチコーミング

参加者 1人 実施日 10月5日

コムケ海岸で漂着物を拾い、科学センター学芸員が漂着物について解説を実施。

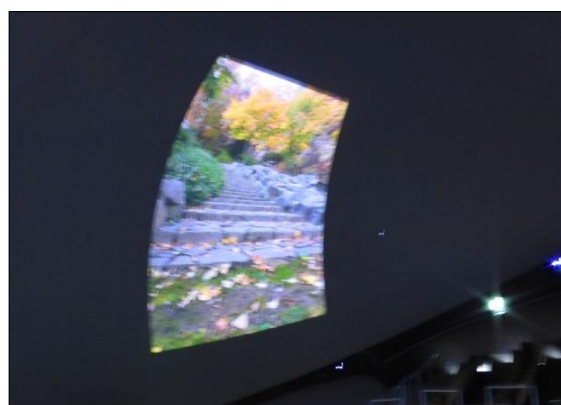
- ・屋外写真撮影会「写真で楽しもう! 紋別の「ちいさな秋」撮影&観覧会」

参加者 4人 実施日 10月20日

紋別の写真愛好家を講師に迎え、紋別の身近な自然を撮影する写真教室。撮影後は各々の作品をドームシアターで上映し、講師のアドバイスをもらう内容とした。



屋外で撮影風景



撮影作品の上映会

#### 4) 特別講座の実施

各分野の専門家の講演会や、科学センター職員によるサイエンスカフェなどの各種特別講座を実施した。

**【参加者合計 237人】** (昨年度 92人 145人増)

- 南極で活躍する人々～紋別市職員と海上自衛隊による講演会～

参加者 113名 実施日 6月23日

海上自衛隊との共催で、「南極の氷」の贈呈式のほか、紋別出身の海上自衛隊員で砕氷艦「しらせ」の乗組員、井上文太氏と、紋別市職員で南極越冬体験を持つ岩本勉之氏による講演会を実施した。



講演会の様子

- 第59回北海道青少年科学館連携協議会職員研修会講演

参加者 19名 実施日 10月2日～3日

道内の科学館で構成される連絡協議会の職員研修会で講演会を実施し、地球環境や紋別市の史実等について講演会を行った。また、紋別市立博物館で学芸員の解説による研修を実施した。

講師：北海道立オホーツク流水科学センター 所長 大塚 夏彦  
紋別市教育文化振興会 会長 橘 有三氏

内容 「地球温暖化のホットスポット 北極」 大塚夏彦  
「日本史のなかの紋別」 橘有三氏

- 大雪山の高山生態系の仕組みと気候変動の影響」

参加者 41名 実施日 11月9日

講師：北海道大学地球環境科学研究院准教授工藤岳氏

日本最大の山岳生態系を有している大雪山国立公園の貴重な高山植物が気候変動により受けている影響について講演した。

- サイエンスカフェ

コーヒーを飲みながら気軽に参加できるサイエンスカフェを今年度より実施した。

講師：オホーツク流水科学センター学芸員

第1回「漂着物の世界へようこそ」

参加者 8名 実施日 9月14日

第2回「顕微鏡で見るミクロの世界」

参加者 24名 実施日 令和7年3月23日



サイエンスカフェの様子

- ・「すごいぞ！？紋別の流氷といきものこども流氷ワークショップ」  
紋別とオホーツク圏域の流氷やその環境について子どもたちに学んでもらうワークショップを実施。

参加者 16人 実施日 令和7年1月11日

講師 木村詞明氏（東京大学大気海洋研究所）

西岡純氏（北海道大学低温科学研究所環オホーツク観測研究センター）

紋別で採取したオホーツク海の流氷の塩分濃度測定や、前日に採取したプランクトンの顕微鏡観察を行い、2025年の紋別の流氷初日と接岸初日を予測した。研究の最前線で活躍する講師2名と参加者とディスカッションしながら学んだ。

- ・流氷初日クイズ授正解者の賞式の実施  
「すごいぞ！？紋別の流氷といきものこども流氷ワークショップ」で予測した、紋別の流氷初日、接岸日の予測当選者の授賞式を実施。授賞式参加者に今年の流氷の傾向について科学センター職員が解説を行った。

参加者 16人 実施日 令和7年3月9日



子どもたちの流氷予測



採取したプランクトン観察

#### 5) その他出前講座の実施（協力事業）

【参加者合計 261人】（前年度 255人 6人増）

- ・「ザ・シンポジウムみなとin紋別」 講師：所長 大塚夏彦  
参加者 150人 実施日 9月26日
- ・「興部町教育委員会 おもしろ体験講座」  
講師：流氷科学センター 管理課主幹 麓 光宣  
参加者 13人 実施日 12月1日
- ・ロータリークラブ卓話「紋別市周辺で撮影した低緯度オーロラ」  
講師：流氷科学センター 研究事業課主査 石原 宙（学芸員）  
参加者 20人 実施日 令和7年2月11日
- ・北方圏国際シンポジウム市民公開講座「紋別市周辺における低緯度オーロラの事例紹介」  
講師：流氷科学センター 研究事業課主査 石原 宙（学芸員）  
参加者 40人 実施日 令和7年2月17日
- ・ゆうべつ学園「流氷に関する講座」  
講師：流氷科学センター 研究事業課主幹 桑原 尚司（学芸員）  
参加者 13人 実施日 12月1日

- ・ベルマーク教育助成財団「水の三態とオホーツクの生きものに関する授業」  
講師：流水科学センター 研究事業課主幹 桑原 尚司（学芸員）  
場所 愛知県豊田市立小原中学校

参加者 25人 実施日 令和7年3月12日

- 6) プラネタリウム上映会の実施 毎月第2日曜日 定期・特別上映 17回実施  
【参加者合計 573人】（前年度 301人 272人増 14回実施）

## イ) その他

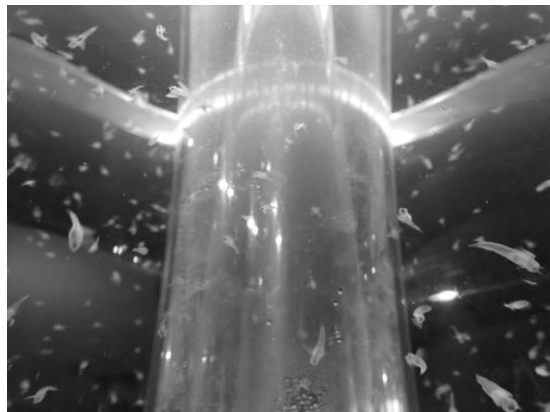
①流水水族館、クリオネ等展示環境を維持し入館者への知識普及を行った。

- ・随時、流水水族館の管理、クリオネ採取等により展示環境を維持。今年度はクリオネ約1,000匹が3年ぶりで採取された
- ・ストックしていた流水を厳寒体験室に搬入した。

実施日 令和7年3月24日 4個搬入



流水搬入の様子



採取したクリオネ水槽

- ②情報・資料の収集とその研究調査を行った。
- ③関連図書等の整備を行った。
- ④センター友の会「流水倶楽部」と連携活動を行った。
- ⑤近隣施設及び、海洋、雪氷研究機関等との連携を図った。

## (4) 市民開放事業

### ア) 地域住民、児童への知識普及の取組

- 1) 親子向け科学教室、文化教室等の開催

【参加者合計 111人】（前年度 419人）

①アート&サイエンス工房～形と色を楽しもう

アートはサイエンスであるというテーマの元、鉋物を使用したものづくりによって芸術や科学に対する興味、関心の喚起を行うワークショップを開催した。

- ・「石を砕いて絵具を作ろう」※子ども、一般

参加者 20名 実施日 9月28日 2回実施  
講師：川嶋渉氏（京都市立芸術大学）

日本画講師による鉱物の絵の具づくり。講義のあと、緑青を砕いて顔料を作り実際に絵をかいて貰うワークショップを実施。

- ・「錫を溶かしてアクセサリーを作ろう」※子ども向け

参加者 14名 9月29日 講師：今井裕之氏（京都金石造形作家）

錫の性質について講義のあと、錫を加熱して溶かしアクセサリーを作成するワークショップを実施。

- ・「天然琥珀でペンダントを作ろう」※一般向け

参加者 10名 実施日 9月29日 講師：今井裕之氏（京都金石造形作家）  
天然琥珀を研磨し、オリジナルアクセサリーを作成するワークショップを実施。



緑青の絵の具づくり



錫のアクセサリーづくり

## ②ポコポコ点字教室

参加者 7人 実施日 12月14日（前年度 16人 9人減）

子ども達や一般の方々に障がい者への理解を深めて頂くことの一環として、盲動者を講師として点字体験を実施した。

## ③ハタでもいいおえかき会

参加者 16名 実施日 令和7年1月12日（前年度 8人 8人増）

低年齢層を対象に様々な画材を使って自由なお絵描き体験を楽しんでもらうワークショップ。紋別の絵手紙同好会の皆さんに協力頂き、世代間交流を通じた情操教育を実施した。

## ④春休みイベント「こちら星座研究所」

参加者 44名 実施日 令和7年3月22日（前年度64人 20人減）

春休み中の子ども向けに星座をテーマにした工作やクイズゲームを行った。

## 2) 自然体験、野外活動教室の開催（6月～2月まで 7回実施）

【参加者合計 344人】（前年度 598人 254人減 22回実施）

市内や近隣地域学校に対して、ビーチコーミングや川の生き物観察の出前授業の他、キャンプや流氷遠足など市内施設との連携プログラムを実施

### 3) 第39回北方圏国際シンポジウムの協力

【参加者 57人】

実施日 令和7年2月15日  
シンポジウムに参加の研究者と地元高校生ボランティアの交流の場を提供した。



シンポジウム研究者とボランティアの交流

### 4) 他施設への出展協力、出張授業の実施

道内外の市町村へ講師を派遣し科学、  
工作教室の出展、出張授業協力を行った。

【出展協力合計 5件】 (前年度 5件) 派遣地域：北見市、釧路市、長岡市、紋別市内

## イ) 生活文化向上への取組

### ① ギザ映画会の開催 (主催事業)

【参加者合計 389人】 5回実施 (前年度285人 104人増 4回実施)

### ② 主催・共催文化活動事業の実施

【入場者合計 8,532人】

- ・わいんどトレック展 (会場 エントランスホール)  
入場者 4,125人 実施期間 9月16～30日
- ・ヘタでもいいおえかき会作品展 (会場 エントランスホール)  
入場者 4,122人 実施期間 令和6年1月6～31日
- ・コムケ写真展～コムケ案内人が出合った自然風～  
入場者 285人 実施期間 令和7年1月4日～2月9日  
共催者 コムケの会

### ③ 市民文化活動支援の実施【展示会などの開催協力】

【入場者合計 5,739人】 9件

※養護学校、高等養護学校については人数カウント無し

- ・写真展「オホーツク物語 5 everyday life there」  
期 間 4月2日～21日  
入場者 197名  
主催者 西紋写真部
- ・鈴木徹写真展「カワウに魅せられて」  
期 間 4月27日～6月16日  
入場者 331名  
主催者 鈴木徹氏

- ・第10回「木の香り こがし絵展」  
 期 間 9月14日～9月29日  
 入場者 176名  
 主催者 紋別焼き絵サークル
- ・写真展「オホーツク物語 2023」  
 期 間 10月8日～27日  
 入場者 195名  
 主催者 西紋写真部
- ・大館和広写真展～天と地の狭間で～第二部「歩き続ける山々」  
 期 間 11月9日～12月22日  
 入場者 289名 ※初日はギャラリートーク実施  
 主催者 もんべつかいはつくらぶ代表 大館和広氏
- ・紋別海上保安部パネル展  
 期 間 令和7年1月17日～2月11日  
 入場者 4,122名  
 主催者 紋別海上保安部
- ・写真展「オホーツク物語 6 愛情」  
 期 間 令和7年2月15日～3月23日  
 入場者 429名  
 主催者 西紋写真部
- ・紋別養護学校作品展示  
 期 間 4月2日～令和7年3月31日  
 場 所 エントランスホール  
 主催者 紋別養護学校
- ・紋別高等養護学校作品展示  
 期 間 4月2日（火）～令和7年3月31日日（月）  
 場 所 エントランスホール  
 主催者 紋別高等養護学校

## (5) 広報活動事業

インターネットや発刊物による周知や、市内観光関係施設及び近隣市町村と連携した広告、商談会等のPR活動の他、雑誌取材やテレビ撮影などの協力を行った。

- ①ホームページ、流氷なう、フェイスブック、職員ブログ等による情報提供を実施した他、令和6年度よりHPを更新し、見やすさ、利便性を改善した。

【アクセス数 127,825件】（前年度127,056件 769件増）

- ②「ギザだより」の発行（6、9、12、3月 400部 年4回発行）

- ③市内学校に対し開催事業の情報提供を行った。

- ④道内外主要観光施設等に対し、ポスター、チラシ設置等によるPRを行った。

⑤道内外旅行代理店へのPR

- ・ 随時、旅行代理店商談会や関連団体との営業活動を行った。

⑥流水提供及びメディア取材対応による観光PRの協力を随時行った。

- ・ 流水やクリオネ提供の他、メディアに対してラジオやテレビ出演、撮影協力などの対応を行った。



東京での旅行代理店商談会



テレビ取材の協力

(5) 事業強化の取り組み

利用者アンケート及び広聴事業の実施により利用者ニーズの把握及び対応を行った。

- ①一般来館者アンケートの結果【73件満足度96.1%】
- ②ご意見箱を設置し、ご意見、ご要望を聴取した。【苦情0件】

(6) 大規模改修について

令和6年度実施の電気設備関係（発電機、中央監視装置等、防火戸の更新）改修工事

(別記1) 令和6年度オホーツク流水科学センター開館状況

項目	開館日	開館時間	休館日
通常開館	火曜日～日曜日	9時30分～16時30分	月曜日・祝日の翌日・年末年始
<b>臨時休館</b>			
項目	期間	開館時間	休館日数
臨時休館	9月3日(火)～8日(日)	9時00分～17時00分	6日
	9月10日(火)～11日(水)	9時00分～17時00分	2日
	10月14日(月・祝)	9時00分～17時00分	1日
	10月16日(水)～17日(木)	9時00分～17時00分	2日
臨時休館日 合計			11日
<b>特別開館</b>			
項目	期間	開館時間	延長日数
時間延長	4月1日～3月31日	9時00分～17時00分	321日
項目	開館日	開館時間	休館日
特別開館	4月30日(火)	9時00分～17時00分	祝日の翌日
	5月7日(火)	9時00分～17時00分	祝日の翌日
	5月13日(月)	9時00分～17時00分	月曜日
	5月20日(月)	9時00分～17時00分	月曜日
	5月27日(月)	9時00分～17時00分	月曜日
	7月16日(火)	9時00分～17時00分	祝日の翌日
	7月22日(月)	9時00分～17時00分	月曜日
	7月29日(月)	9時00分～17時00分	月曜日
	8月5日(月)	9時00分～17時00分	月曜日
	8月13日(土)	9時00分～17時00分	祝日の翌日
	8月19日(月)	9時00分～17時00分	月曜日
	8月26日(月)	9時00分～17時00分	月曜日
	11月24日(日)	9時00分～17時00分	祝日の翌日
	1月6日(月)	9時00分～17時00分	月曜日
	1月14日(火)	9時00分～17時00分	祝日の翌日
	1月20日(月)	9時00分～17時00分	月曜日
	1月27日(月)	9時00分～17時00分	月曜日
	2月3日(月)	9時00分～17時00分	月曜日
	2月10日(月)	9時00分～17時00分	月曜日
	2月12日(水)	9時00分～17時00分	祝日の翌日
	2月17日(月)	9時00分～17時00分	月曜日
	2月25日(火)	9時00分～17時00分	祝日の翌日
	3月3日(月)	9時00分～17時00分	月曜日
	3月10日(月)	9時00分～17時00分	月曜日
	3月17日(月)	9時00分～17時00分	月曜日
	3月21日(金)	9時00分～17時00分	祝日の翌日
	3月24日(月)	9時00分～17時00分	月曜日
	3月31日(月)	9時00分～17時00分	月曜日
臨時開館日 合計			28日



### 3 紋別市健康プールの事業報告

#### (1) 指定管理事業

##### ア) 施設の管理運営

###### ① 利用促進の取組

令和7年1月4日より3月31日までの期間、紋別市による空調及び消防設備などの改修工事が実施され本施設は臨時休館となったことから、今年度の利用者数は4月から12月までの9ヶ月間で39,297人となり、前年度12ヶ月間との比較では9,920名の減となった。

しかし、令和3年度から令和5年度の4月から12月までの9ヶ月間の利用者数の平均値と比較すると、令和6年度の利用者数は、その平均値を上回った結果となった。

これは、8月の猛暑による利用者数が好調であったことと、昨年度は冬期間のみの運行だった、高齢者の送迎事業を4月からスタートさせたこと、フィットネス講座の受講者が増加し、幅広い年齢層に利用されたことが要因となった。

###### 【入館者状況】

令和6年度入館者 39,297人

(前年度49,217人 前年比9,920人減)

- ・団体利用については、5団体171人の利用があった。  
(前年度5団142人利用 前年比±0団体29人増)
- ・紋別市スポーツ合宿誘致事業補助施設として、4団体44人の利用があった。  
(前年度11団体118人利用 前年比7団体74人減)

###### ② 施設の開館日

【営業日数 244 日】(前年度 314日)

###### ③ 特別営業の実施

祝日の翌日休館日の特別営業を24年度より実施している。

夏休み繁忙期含め、年間11日の特別営業を実施した。(別記1)

※前年度 特別営業日数15日

#### イ) 各種水泳競技大会及び水泳強化合宿への協力

##### ① 水泳競技大会

- ・4月28日(1日間開催)

「第33回オホーツクジュニア水泳競技大会」

※北海道水泳連盟公認大会

全道各地より【参加者 269人】

(前年度427人 前年比158人減)

- ・10月6日(1日間開催)

「第14回オホーツクスプリント水泳競技大会」

※北海道水泳連盟公認大会

全道各地より【参加者245人】(前年度252人 前年比7人減)

- ・12月11日「第49市民水泳大会兼記録会」

【参加者45名】(前年度45人 前年比±0人)



- ② 水泳強化合宿
  - 5月北大水泳部強化合宿 【今期中止】（前年度開催無し）
  - 8月イトマン北海道ブロック強化合宿【今期中止】（前年度39人）
- ③ 市内小中学校水泳授業及び紋別養護学校への協力
  - 6月末から9月末までの期間、市内小学校及び紋別養護学校の水泳授業開催の協力をした。各学校児童、教員合わせ【利用者1,856人】  
（前年度2,114人 前年比258人減）
- ④ 水難訓練に伴う施設提供
  - 紋別海上保安部 0回 （前年度17回87人）
  - 紋別地区消防組合 5回 25人（前年度23回95人）

## （2）主催事業の実施

### ア）スポーツ振興及び健康増進事業の実施

今年度よりスイミングスクールは開催期間を5期から6期に増やし開催予定でしたが、改修工事による臨時休館から4期と半分の開催となった。フィットネス講座についても1月以降は学習センターにて隔週開催とした。



指導派遣事業では新規2個所の指導派遣をおこない広域の健康増進に寄与した。

- ① 初心者対象スイミングスクールの開催（1期7～14回 4. 5開催）
  - ・【幼児から一般までの受講者数 445人】  
（前年度549人 前年比104人減）
  - ・短期スイミング講座の開催（3日間 1回開催）  
【幼児、小学生の初心者対象 15人】  
（前年度63人 前年比48人減）
- ② 泳力向上者対象スイミングスクールの開催（1期7～14回 4. 5期開催）
  - ・【幼児から一般までの受講者数 279人】  
（前年度445人 前年比166人減）
- ③ 各種フィットネス講座の開催（中学生から一般対象 8講座）
  - ・【受講者 計 1,626人】  
（前年度1,501人 前年比125人増）
- ④ 指導派遣事業
  - ・雄武町教育委員会施設利用に伴う水泳指導派遣  
【計2回 46人】（前年度2回61名 前年比15人減）
  - ・上渚滑交流プール小学生無料スイミング指導派遣  
【計1回 4人】（新規）
  - ・雄武町フィットネス教室指導派遣  
【計4回 60人】（新規）
- ⑤ その他（改修工事に伴うスイミングスクール対応）
  - 12月～1月の開催予定としていた第5期スイミングスクールは改修工事により12月のみの開催となったことから受講料を無料とし、はじめて受講する方や以前受講していた方も参加できるスクールとした。  
新規及び再受講【計4回 12人】（今回のみ）

## イ) イベント開催事業

### ① 34thアニバーサリーフェアの開催



12月22日【利用者数 248人】  
(前年度134名 114名増)

水中ゲームやじゃんけん大会など職員手作りで実施のゲームの他、焼き鳥販売、射的・わなげ投げなどの縁日を開催。プールをいつもご利用いただいている成人の方にもご協力いただき、盛大に開催した。

### ② 記録会の開催

- ・ 7月20日 第8回ステア夏季記録会 19人 (前年度開催なし)
- ・ 9月28日 令和6年度 9月期記録会 19人 (前年度開催なし)
- ・ 11月23日 令和6年度11月期記録会 11人 (前年度開催なし)
- ・ 12月10日 第48回市民水泳大会兼記録会 45人 (前年度45人)

## (3) その他の事業

### ① 高齢者等の送迎について

プールを利用する高齢者等の交通手段として今年度より年間(4月から12月)を通して送迎を実施した。

- ・【送迎利用者回 70回 332人】  
(前年度28回361人 前年比29人減)

## (4) 広報活動

### ① 新聞、観光雑誌等への広告掲載

「年賀広告紋別特集～道新オホーツク管内版、北海民友新聞」  
「ホワイトペッパー～年間8回掲載 各26,000部」

- ② 「ステアだより」の発行(毎月250部)
- ③ 「もんべつ広報」へのステア情報掲載(毎月12,000部)
- ④ ステアホームページ
- ⑤ フェイスブックやInstagramによるPR
- ⑥ SNSによるスクール生への休校通知
- ⑦ 水泳競技大会プログラム広告(年間4回 計900部)

## (5) 事業強化の取組

### ① ご意見箱設置

【苦情2件】幼児スイミングスクール生の保護者への受け渡しの件や観覧スペースの環境の件、駐車場と側溝との区切りの件などのご意見やご要望。

※頂いたご意見の対応や改善点などを掲示板に掲示した。

- ② ホームページ掲示板などでご意見ご要望を徴収した。  
【苦情0件】

## (6) 大規模改修について

- ・令和7年1月から3月末までの期間臨時休館し、空調設備及び消防設備、自動制御盤、採暖用サウナ室などの改修がおこなわれた。

(別記1)

特別営業開館日(年間11日 計1,962名) (前年15日 計2,807名)				
項目	開館日	開館時間	入館者	備考
休館日の 開館	4月30日(火)	13:00~21:00	119名	ゴールデンウィーク期間のため
	5月7日(火)	10:00~21:00	153名	ゴールデンウィーク期間のため
	7月16日(火)	10:00~21:00	211名	夏期繁忙期のため
	7月29日(月)	10:00~21:00	178名	夏休み繁忙期のため
	8月5日(月)	10:00~21:00	155名	夏休み繁忙期のため
	8月13日(火)	10:00~21:00	346名	夏休み繁忙期のため
	8月19日(月)	10:00~21:00	162名	夏休み繁忙期のため
	9月17日(火)	10:00~21:00	181名	スイミングスクール実施のため
	9月24日(火)	10:00~17:30	177名	スイミングスクール実施のため
	10月15日(火)	10:00~21:00	140名	スイミングスクール実施のため
	11月5日(火)	10:00~21:00	140名	スイミングスクール実施のため

#### 4 紋別生涯学習センターの事業報告

##### (1) 指定管理事業

##### 施設の管理運営

##### ① 利用促進の取組

令和6年度は、感染症対策による各種制限や利用低迷から脱却し、コロナ禍以前の利用状況を超える結果となった。とくに学校をはじめスポーツ少年団やサークル活動団体の利用が増え、一般市民における生涯学習活動の活発化が伺える。また昨年から引き続き、管内外国人実習生の受入団体による研修利用が通年あり、昨年度からの利用者数の増加へ大きく影響している。

体験活動事業では、小学生を対象とした各種体験活動をはじめ、生涯学習事業として、親子や大人を対象とした幅広い年代へ向けた体験活動の提供に努めた。また5月に開催した施設開放イベント「リラフェス」では、クラフト工作体験やお菓子作り体験などの様々な体験活動を展開し、昨年を上回る366名の来場があった。

施設利用に伴う団体受入では、管内外の小中学校による宿泊研修や青少年教育団体による研修利用、企業による研修利用が多数あった。

その結果、利用者数は9,348名となり、前年度(8,236名)比1,112名(13.5%)の増、さらに令和元年度(9,117名)比231名(2.5%)の増となり過去最高となった。

##### 【利用状況】

令和6年度 417団体 9,348名 (前年度 8,236名 前年比 1,112名増)

区分	学 校						社会教育団体				その他			合計	
	小学校	中学校	高等学校	特別支援	大学等	計	青少年	一般	その他	計	保育所等	企業一般	主催共催		
日帰者数	58	120	21	0	34	233	1,839	0	0	1,839	0	2,785	693	5,550	
宿泊者数	382	89	127	12	568	1,178	784	6	0	790	0	9	268	2,245	
宿泊利用者数	764	178	200	24	695	1,861	1,371	12	0	1,383	0	18	536	3,798	
施設利用者数	822	298	221	24	729	2,094	3,210	12	0	3,222	0	2,803	1,229	9,348	
利用団体	日帰団体数	3	3	3	0	4	13	139	0	0	139	0	177	21	350
	宿泊団体数	13	4	3	1	6	27	22	1	0	23	0	2	15	67
	利用団体数	16	7	6	1	10	40	161	1	0	162	0	179	36	417

##### ② 特別開館の実施(別紙1)

利便性向上を図り連休期間、祝日、長期休暇期間は、特別開館を実施した。

【特別開館日数 25日】 (前年度 24日)

##### ③ 施設の開館

【開館総日数 316日】 (前年度 316日) ※特別開館日を含む

## (2) 体験活動事業の実施

生涯学習教育として、小学生から中学・高校生までの青少年、幼児を含む親子及び大人を対象とした様々な体験学習活動を実施した。他団体との連携開催事業を含め21事業36回を実施し、紋別市を中心に遠紋地域、オホーツク周辺地域の各地から延べ961名の参加があった。(前年度20事業35回延べ791名)

### ア) わくわくチアーズ

参加対象 小学校低学年(小学1～3年生)

実施場所 生涯学習センター、コムケ湖畔 他

《第1回》 わくわく! リラであそぼう!

開催日 5月12日(日)

参加者 22名

内 容 野菜の苗植え、コミュニケーションゲーム

《第2回》 わくわく! コムケたんけん

開催日 6月29日(土)

参加者 19名

内 容 自然観察、ネイチャーゲーム 他

《第3回》 とれたよ! 夏のやさい

開催日 9月7日(土)

参加者 19名

内 容 野菜収穫体験、調理活動、宿泊体験

《第4回》 わくわく! たき火にチャレンジ!

開催日 10月6日(日) 14日(月)

参加者 延べ35名

内 容 焚き火体験

《第5回》 ニンニン! 忍者学園

開催日 11月2日(土)

参加者 17名

内 容 レクリエーション、軽スポーツ

《第6回》 わくわく! クリスマス大作戦

開催日 12月15日(日)

参加者 25名

内 容 クラフト活動、文化体験 他

講 師 磯野 孝子 氏(nico)

《第7回》 いらっしゃい! 屋台ひろば

開催日 2月22日(土)～23日(日)

3月 1日(土)～2日(日)

参加者 延べ46名

内 容 宿泊体験、調理体験、擬似店ごっこ 他



### イ) リラにおいてよ\*キッズ開放日

参加対象 小学生(全学年)

実施場所 生涯学習センター

開催日程 ① 4月21日(日) ② 7月28日(日)

③ 10月12日(土) ④ 12月22日(日)

- ⑤ 12月26日(木) ⑥ 1月 6日(月)  
 ⑦ 1月 8日(水) ⑧ 1月12日(日)  
 うち②③実施回は宿泊を伴う形式で実施

参加者数 延べ119名  
 実施内容 自主学習、自然体験、クラフト、調理活動他

- ウ) リラ活動サポーターりらさぼ養成研修会  
 開催日程 4月3日(水)～4(木)  
 実施内容 コミュニケーションワーク  
 参加者数 15名  
 参加対象 中学生、高校生



- エ) 自然観察 春のいきものみつけ in 大山  
 開催日程 4月27日(土)  
 実施内容 草花、樹木、野鳥、両生類等の観察  
 参加者数 31名  
 参加対象 幼児、小学生～大人  
 実施場所 森林公園、大山散策道

- オ) 大山ネイチャーハイク～めざせ！大でてっぺん～  
 開催日程 5月11日(土)  
 実施内容 草花、樹木、野鳥、両生類等の観察  
 参加者数 14名  
 参加対象 高学年(4年生～6年生)  
 実施場所 オホーツク森林公園、大山散策道



- カ) LiLA\*Festival リラフェス2024(施設開放イベント)  
 開催日程 5月19日(日)  
 実施内容 施設開放、クラフト、お菓子づくり体験他  
 参加者数 366名  
 参加対象 一般(幼児・小学生～大人)

- キ) ガリンコ釣りキャンプ  
 開催日程 6月22日(土)～23日(日)  
 実施内容 海釣り体験、調理実習、食育学習 他  
 参加者数 19名  
 参加対象 高学年(4年生～6年生)  
 実施場所 ガリンコ号、オホーツクタワー 他  
 指導講師 岸山 絵里子 氏(株式会社きたみらい)



- ク) わいるどトレック～そうだ、川へいこう～  
 開催日程 8月1日(木)～2日(金)  
 実施内容 水棲生物観察、ヒグマ生態学習  
 参加者数 10名  
 参加対象 高学年(4年生～6年生)

実施場所 コムケ湖畔、生涯学習センター  
協働実施 道立オホーツク流氷科学センター

ケ) LiLA English Summer Camp

開催日程 8月13日(火)  
実施内容 英語学習、コミュニケーションゲーム  
参加者数 14名  
参加対象 高学年(4年生~6年生)  
実施協力 教育委員会学務課外国語指導助手



コ) テントで泊まろう!夏の親子キャンプ

開催日程 8月16日(金)~17日(土)  
実施内容 テント泊、野外炊事、自然体験  
参加者数 4組11名  
参加対象 親子  
実施場所 生涯学習センター

サ) ぼくらのオホーツクジャーニー~西おこっぺ旅~

開催日程 8月19日(月)~20日(火)  
実施内容 地域間交流、自然体験、地域学習  
参加者数 15名  
参加対象 高学年(4年生~6年生)  
実施場所 西興部村



シ) コムケアドベンチャートレイル 18k

開催日程 9月21日(土)~22日(日)  
実施内容 ロングトレイル、自然観察、キャンプ  
参加者数 14名  
参加対象 高学年(4年生~6年生)

ス) 救命救急講習 MFA チャイルドケアプラス

開催日程 9月29日(日)  
実施内容 ファーストエイド実技講習  
参加者数 8名  
参加対象 一般(学習センター職員含む)  
指導講師 新野 和也 氏(NPO 法人どんころ野外学校)



セ) 防災サバイバルキャンプ

開催日程 11月23日(土)~24日(日)  
実施内容 防災学習、アウトドア実技、避難所体験  
参加者数 13名  
参加対象 高学年(4年生~6年生)

ソ) LiLA English Camp Winter

開催日程 12月7日(土)

実施内容 ALT 指導による英語学習、文化体験

参加者数 25名

参加対象 小学生を含む親子



タ) Noel de LiLA～リラで楽しむクリスマス～

開催日程 12月14日(土)～15日(日)

実施内容 クラフト活動、異年齢交流

参加者数 24名

参加対象 高学年(4年生～6年生)

チ) 雪の森を歩こう～大山スノーシューハイク～

開催日程 1月25日(土)

実施内容 自然観察、スノーシューハイク

参加者数 15名

参加対象 小学生、親子、大人

ツ) “食べる”を楽しもう!ごちそう物語

開催日程 2月1日(土)～2日(日)

実施内容 食育学習、調理活動、買い物体験

参加者数 11名

参加対象 高学年(4年生～6年生)

指導講師 秋場 俊宏 氏(管理栄養士)



テ) リラ活動サポーターりらさぼ養成研修会

開催日程 2月15日(土)～16日(日)

実施内容 コミュニケーションワーク

参加者数 13名

参加対象 中学生、高校生

ト) なぞときラビリンス～ひらけ!迷宮のトビラ～

開催日程 3月15日(土)～16日(日)

実施内容 謎解き体験、コミュニケーションワーク

参加者数 21名

参加対象 高学年(4年生～6年生)



(3) 共同開催・連携協力事業

むしムシ観察会～チョウ博士と昆虫をさがそう～

開催日程 8月17日(土)

実施内容 コムケ湖畔における昆虫採集、観察指導

参加者数 20名

参加対象 小学生、親子、大人

指導講師 永盛 俊行 氏(日本チョウ類保全協会 JBCS 会員)

共同開催 NPO 法人三室番屋復活プロジェクト

#### (4) 職員派遣依頼対応

講師依頼に応じ、職員派遣や活動プログラム提供をおこなった(17件)

ア) 西興部村教育委員会主催「宮の森」春の自然観察会

対応日程 5月25日(土)

実施場所 西興部村森林公園「宮の森」

実施内容 自然観察、自然ガイド

イ) 紋別市立紋別中学校3年生 総合的な学習授業

対応日程 6月18日(火)、25日(火)

実施場所 カリヨン広場海岸、紋別中学校

実施内容 ビーチコーミング、流木クラフト指導



ウ) 雄武町立雄武中学校1年生 総合的な学習授業

対応日程 6月27日(水)

実施場所 雄武町「夢の郷育村」

実施内容 自然観察指導、木育活動

エ) 紋別市立潮見小学校6年生理科授業

対応日程 7月5日(金)・8日(月)

実施場所 藻別川中流域

実施内容 水棲生物の採取・観察学習の指導補助

オ) 紋別市立南丘小学校3年生総合的な学習授業

対応日程 7月16日(火)

実施場所 南丘小学校運動場

実施内容 火についての解説、火熾し体験

カ) 興部町教育委員会主催自然生活体験学習事業わんぱく村

対応日程 7月31日(水)

実施場所 旧秋里小学校敷地内

実施内容 自然観察指導、ネイチャーゲーム



キ) 紋別市立紋別中学校1年生理科授業

対応日程 8月26日(月)

実施場所 モベツ川中流域、理科教室

実施内容 河川棲生物および河川環境学習の指導補助

ク) 「いいね」が集まる山ヨガフェスタ

対応日程 8月31日(土)

実施場所 大山山頂園

実施内容 自然観察、ネイチャークラフト

ケ) 北海道紋別高等養護学校 1 日防災学校授業  
対応日程 9月3日(火)  
実施場所 北海道紋別高等養護学校  
実施内容 防災学習指導

コ) 遠軽町立南小学校放課後クラブ活動  
対応日程 9月13日(金)  
実施場所 遠軽町立南小学校運動場  
実施内容 アウトドア活動指導

サ) 紋別市立潮見小学校 5 年生総合的な学習授業  
対応日程 9月30日(月)  
実施場所 モベツ川流域、理科教室  
実施内容 河川環境学習の指導補助



シ) 紋別市立潮見小学校 1 年生生活科授業  
対応日程 10月29日(火)・11月6日(水)  
実施場所 紋別公園、1 年生教室  
実施内容 自然観察、ネイチャークラフト指導

ス) 西興部村教育委員会主催木育事業  
対応日程 11月16日(土)  
実施場所 森の美術館「木夢」  
実施内容 苔の観察、苔テラリウムづくり

セ) 紋別市立上渚滑小学校教員研修  
対応日程 11月21日(木)  
実施場所 紋別市立上渚滑小学校体育館  
実施内容 レクリエーション指導



ソ) 紋別市立潮見小学校 4 学年学級親子レク  
対応日程 11月27日(水)  
実施場所 紋別市立潮見小学校体育館  
実施内容 体育館レクリエーション指導

タ) 道立青少年活動支援施設ネイパル北見 ネイパル Thanks day  
対応日程 11月30日(土)~12月1日(日)  
実施場所 道立青少年活動支援施設ネイパル北見  
実施内容 運営補助、レクリエーション指導



チ) 紋別市立上渚滑小学校 1・2 年生生活科授業  
対応日程 2月13日(木)  
実施場所 紋別小学校校庭、1・2 年生教室  
実施内容 凧づくり指導

## (5) 職員の研修

職員の職務技術と意識の向上を図るため、各種研修活動に参加した。

### ア) 施設内清掃技術 職員研修

実施日程 5月10日(火)～11日(水)

研修内容 施設内研修室、施設設備などの清掃技術指導

開催場所 紋別生涯学習センター

指導講師 ノースアジャスト株式会社ダスキン南ヶ丘支店

参加職員 8名(清掃パート職員含む)

### イ) 令和6年度青少年教育者のためのSTEP UP セミナー

実施日程 第1回 5月23日(木)

第2回 6月8日(土)

研修内容 リスクマネジメント、登山技術 他

開催主催 青少年教育振興機構国立大雪青少年交流の家

開催場所 同上

参加職員 2名

### ウ) ネイパル北見主催事業 事業実施運営研修(サポートスタッフ参加)

実施日程 11月16日(土)～17日(日)

研修内容 低学年児童対象事業の運営視察及び研修

開催主催 道立青少年教育施設ネイパル北見

開催場所 同上

参加職員 1名

### エ) 令和6年度北海道青少年教育施設協議会職員研修

実施日程 11月7日(木)～8日(金)

研修内容 施設職員研修、リスクマネジメント研修

開催主催 北海道青少年教育施設協議会

開催場所 札幌市青少年山の家

参加職員 2名

## (6) 広報活動事業

- ・インターネットによる周知の他、市内および近隣町村の小中学校、高等学校に対して、利用案内を送付するなど広報活動を展開
- ・ホームページにおける施設案内及び体験活動の紹介、体験活動事業の開催案内などの情報公開
- ・Facebook、InstagramなどSNSを活用した体験活動事業の報告、次回開催の事業についての積極的な案内
- ・市内学校に対しチラシやポスターなどによる開催事業の周知
- ・「広報もんべつ」や地元新聞等への掲載および市内施設のポスター掲示